

耐火物製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	4	10～11	当社工場内にて、原料供給機を使用し作業中、駆動用ギアを固定するボルトの緩みが生じたため、電源を切り、ボルト固定用の工具（スパナ）で引締作業を行ったが他の用件が発生したため、その場を離れた。その際、工具はボルト引締作業のままだったが、そのことを失念し供給機の電源を入れたため、工具が付いたままのギアが回転し、鉄製の枠に押さえ付けられ圧迫され、工具が前面に飛びだし、当人の左足を直撃した。	62	121	4	1～9
2017	6	13～14	土の乾燥工場内で、乾燥機メインスイッチを入れるため梯子で上がったところ、足を踏み外し、約1.5m下に転落し、頭部より出血した。	59	416	1	1～9
2017	6	15～16	第2製造室1000tプレスで整形完了後、練土供給ホッパーから残練土を輩出する作業中に、ホッパー下のベルトコンベアとリターンローラー間に左手を巻き込まれた。	53	224	7	500～999
2017	7	9～10	チッパー機のベルトカバーを取り外すとき、鉄板製カバーの上から誤って滑り落ち、左足首を骨折した。	64	139	1	10～29
2017	11	11～12	被災労働者が、当社本社工場において、ミキサーを使用して坏土の泥練作業中に、ミキサー内の掻き羽やロールタイヤに付着した紛体原料を取り除こうとして、ミキサーを完全停止させずに、ミキサー	44	162	7	10～

			内に手を入れたため、ゴム手袋が巻き込まれ、右手示指・小指・甲等を負傷したものである。					29
2017	11	14～ 15	No.1大型研磨機にて、フロート煉瓦（903×662×305mm）の側面研磨を行っていた。スライドヘッド上の煉瓦の側面加工送り前進後、後退する際にスライドヘッドと煉瓦下の間にあったナイロンスリングロープ（1t用30mm×3m）の端が煉瓦側面より外に飛び出ていた為、引き抜こうと手を出したところ、ナイロンスリングロープが砥石回転体の中に巻き込まれ、手が持っていられなくなった為、慌てて手を離したが、研磨機の砥石に手を叩かれ左手の中指を複雑骨折した。	31	153	7	100 ～ 299	
2017	11	16～ 17	工場へ出張移動中、駅で特急列車から降車した時に左膝を痛めた。	59	921	19	500 ～ 999	
2017	12	15～16	当社工場内において清掃作業時、トラックの荷台に鉄屑等をのせる作業中、足が滑り尻もちをつき、左足と腰を捻った。	65	416	2	1～ 9	

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html